

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 幸楽
代表者	井上 良子
事業所名	小規模多機能ホーム すまいる
管理者	南谷 裕子
実施日	令和 6 年 1 月 17 日
報告日	令和 6 年 2 月 25 日

法人・事業所 の特徴	<p>利用者様とご家族様が生活を維持できるように、ディサービス・訪問介護・ショートステイ・通院同行や併設の共同住宅入居を、可能な限り臨機応変にサービスを提供しております。入退院時対応や、他の施設への入所も、利用者様やご家族様のご意向に添える様、最後まで関わらせて頂きます。通院時は看護師が同行し医療との連携を取る事で、利用者様やご家族様の負担・不安の軽減となる様図っております。また毎月利用者様お一人お一人のニーズに合わせた介護計画を、担当スタッフと見直しして改善計画を立案し、全スタッフが介護計画を周知して、日々の援助をさせて頂いております。現在新型コロナが5類に移りましたが、看取り状態者以外は面会制限している状況ですので、ご家族様にはガラス越しの面会が続いております。地域の方々には、町内会活動を通してスタッフや利用者様のご理解を得ておりましたが、現在は行事の参加も、弊社の行事等へのご参加もお休みさせて頂いてました。</p>
---------------	--

実施日の出席者	苫小牧市職員	地域包括支援センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	0 人	2 人	2 人	人	人	12 人	17 人

前回の目標	取組み内容
利用者様が穏やかな笑顔で過ごせるよう、思いを汲み取り、寄り添い、日々の状態に合った丁寧な介護が出来る。	今迄と同様に利用者様毎の担当者が中心にコミュニケーションをとる様に心掛けて来たが、外出の希望は感染予防を考え、近隣の散歩程度でした。いつもと違う反応や表情も徐々にくみ取れるようになってきて、その日のスタッフと異常の観察を共有出来るようになり、申し送りする事で継続の必要性が理解できて来た。ケース会議に置いて利用者様の希望や思いを周知していましたが、笑顔は少なかった様に思われます。
介護記録の記入漏れを無くし、スタッフ間で情報のスムーズな共有を図り、お互いがスキルアップでき、なんでも話せたり、意見が言える職場にする。	申し送りやアセスメントシート等で、情報の共有が取り易くなってきています。しかし、記入漏れに関しては依然と改善されて居なく、弊社は手書きの為、他のスタッフが記入中は遠慮してしまい、後でと思って居ても忘れてしまう事があった。意見の交換は少しずつではあるが、話し易くなって来たと感じている。
利用者様の安全を第一に考え、一番適切な援助方法や環境を整備し、スタッフ全員が周知、実施する。	ケース会議を通して、介助方法の手順や注意事項の周知を図ってきた。それに伴って移乗時の協力体制ができてきているが、まだ不十分な面もあると考えられる。内部研修でも、基礎的な移乗や介護手順等の振り返りや見直しをしていた。
今回の目標	取組み内容
利用者様の異変にいち早く察知し、一人ひとりの訴えを的確に理解して、適切な対応を取る事でより充実した生活を送れる様に支援する。	普段と比べて異常あった時は、看護師に報告し他スタッフと協力をとって、経過観察しながら改善に繋げる。
介護記録の記入漏れを無くす。	アセスメントシートへの記録をする習慣を付ける。記入希望時、記載中のスタッフが居た場合は、終了後に声をかけてもらい、記入漏れを無くす。
スタッフ間の協力体制を整えて、より良い安全な支援を提供する	業務が一人に集中している事が無いように、スタッフ間の行動をある程度把握して、役割以外の事も皆で助け合う。困っている事があれば遠慮しないで、他スタッフに伝え、周りのスタッフからも声かけ合い協力する。効率化が図れる事は、共有する。

【設問の評価について】  
 ○ : はい  
 × : いいえ  
 △ : わからない

【地域かかわりシート評価結果】

設問		評価	意見等
自己評価の確認	1 事業所自己評価は、スタッフの意見を反映し実施されているか。	○	
	2 前回の改善目標に対して、具体的な取組みが行われていたか。	○	
	3 今回の自己評価に対する改善目標が1つ以上立てられているか。(改善目標の内容について事業所から説明があったか。また、改善目標がない場合は自己評価内容と比べてそれが妥当であるか。)	△	
事業所の様子	4 事業所内や周囲の環境は清潔な状態が保たれているか。(不快な臭い等はないか)	△	一部しか見えておりませんが、掃除スタッフさんもお仕事をされています。季節に合わせて装飾されていると思います。
	5 事業所内は居心地のよい空間になるよう工夫されているか。(明るさ、装飾、生活音等に配慮がされているか。)	○	
	6 事業所は訪問しやすい雰囲気になっているか。(外観的工夫、内部での対応等が適切であるか。)	○	
連携・共同	7 運営推進会議では、事業所の取組みが解りやすく説明されているか。(資料等はわかりやすいものになっているか。)	○	
	8 運営推進会議で出た意見等を改善につなげているか。	○	書面で報告している方たちに対し、報告だけではなく、意見をもらえるよう、アンケートなども合わせて送付してはどうでしょうか？
	9 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画しているか。	△	私自身は参加はありませんが、訓練は行っているようです。誕生日等の行事だけではなく、○月○日、△△研修に参加しました。など載せてはどうでしょうか？
	10 事業所のスタッフ及び利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか。または、参加状況について報告等を受けたことがあるか。	△	町内会も、いつきの会の方々と役員の少人数で行っています。子供みこしの時は、外に出て来てくれました。
	11 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているか。	△	
	12 事業所に対する意見や要望等を伝えやすい関係が構築されているか。	○	

【その他意見等】

感染予防の為、運営会議に参加出来ていない為、分からない事が多い。  
 コロナ過で会う事が出来ませんが、お手紙で報告して下さっています。町内会も少しづつ行事復活されています。  
 すまいるさんから、お手伝いの声も頂いております、嬉しい事です。  
 運営推進会議に出席できるメンバーを制限している事業所は、だいぶ少なくなりました。法人、事業所判断になりますが、制限緩和ができるとうれいですね。  
 運営会議書面参加の方たちに事前にアンケート等を取り、改善につなげられるようにしてみたいかかでしょうか？